



1/1  
報道関係者各位

2014年2月4日

東京都港区赤坂 4-1-31 アカネビル 5階  
株式会社パシフィカ・キャピタル

## パシフィカ・キャピタル、 5.8MW メガソーラー発電所を石川県志賀町に開発

ソーラー開発事業及び不動産事業を手掛ける株式会社パシフィカ・キャピタルは、このたび、石川県志賀町にて小泉勝町長同席のもと、5.8MW規模（出力容量）の太陽光発電所の開発参画を発表いたしました。

着工は2014年5月予定で、本プロジェクトはパシフィカ・キャピタルの手掛けるメガソーラー開発の第2号案件となります。第1号案件は、茨城県常陸大宮市における出力容量2.9MWの発電所で、昨年9月に着工しました。

志賀町における発電所は、能登中核工業団地に位置し、敷地面積は75,896㎡。パシフィカ・キャピタルの代表取締役セス・サルキンは、メガソーラー事業として志賀町の当該地を選定した理由を、次のように述べています。「能登中核工業団地は、事業として必要なインフラが全て整備されています。更に、物件精査や事業計画を進めるにあたり、土地の売主である中小機構や志賀町の協力や適切なご指導、ご支援をいただいていることも本土地の選定に大きく影響しました。」

本発電所の発電電力は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度に基づいて、北陸電力に対して売電します。

1995年、前身のパシフィカ・コーポレーションとして設立以来、パシフィカ・キャピタルは東京並びに主要国内都市で商業系物件の投資・開発・運営に携わってまいりました。これまでに培った豊富な実績とネットワークを駆使し、平成24年7月からの「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」導入以後パシフィカ・キャピタルは、ソーラー事業チームを組成し、現在中～大規模のメガソーラー事業の開発を更に進めています。

本件に関するお問い合わせ: セス・サルキン [Seth.Sulkin@pacific-cap.com](mailto:Seth.Sulkin@pacific-cap.com)

ソーラー事業用候補地のご紹介連絡先: 有馬俊一郎 [shun@pacific-cap.com](mailto:shun@pacific-cap.com)